

とっておきの1枚

10分

対象：小学校1年生～大人まで 人数：2人以上

ランダムに
カードを1枚
配る



私のとっておきの
1枚は、このカードです。
なぜなら、
私は、おっちょこちょいなので、
よく失敗して落ち込むことがあります。
なんとなく、ブラックホールに
吸い込まれてしまったような感じに
なります。
この作品の白い所を見てください。
ブラックホールがはじけて、
暗闇から救いの光が出ている
ようで、とってもほっとします。

配られたカードが、自分の
好むと好まざるとにかかわら
ず、「とっておきの1枚」と
して、感じたことを具体的に
話す。

<p>じゃんけんで親を決めます。</p> <p>親は全員にカードを1枚ずつ配ります。</p>	<p>参加者は、配られたカードよく見ます。 (知識を話すのではなく、自分の感じたことを大事にします。)</p>	<p>そのカードが、自分の好むと好まざるとにかかわらず、「とっておきの1枚」として、どういうところが、好きなのか、またどういうところが、すばらしいかを、参加者全員が納得できるように、話をします。</p>	<p>全員が行ったら、終わりです。</p>
--	---	---	-----------------------

ポイント! 自己紹介を兼ねてアイスブレイキング的に使うことができます。

- ・なるべく簡潔にまとめるようにしましょう。
- ・小学校低学年では、「私は、このカードが好きです。なぜなら、ここの形が にみえるからです。」や、「私は、このカードが好きです。なぜなら、ここの色が と似ているからです。」といった自分の身近なものに見立てるなどして、簡単な言葉のやりとりしましょう。